

■くまもとDMCについて

熊本の「食」と「観光」をマーケティングする観光戦略会社

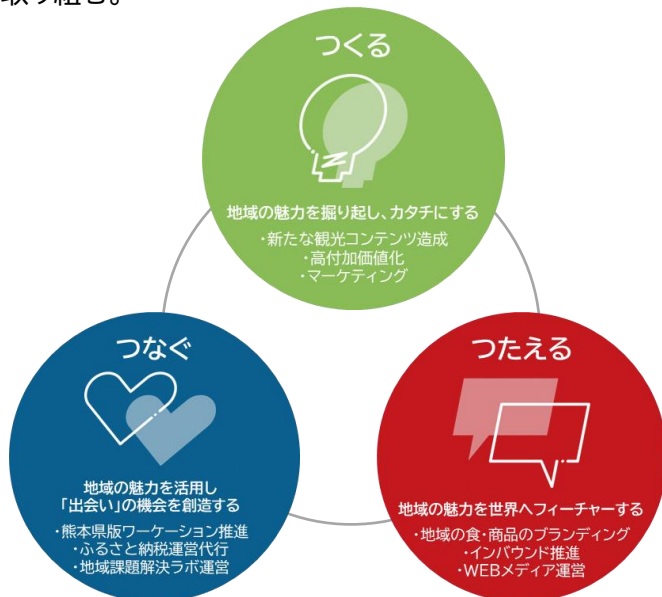
熊本県全体を活動領域とする地域連携DMOとして、自治体や観光協会等と連携しながら、観光振興や地域製品の販路開拓、ふるさと納税を活用した県産品のマーケティングなどに取り組む。

会社名 : 株式会社くまもとDMC
代表者 : 磯田淳
所在地 : 熊本市中央区水前寺公園15-30
設立 : 2016年12月9日
従業員数 : 12名
資本金 : 5,000万円
株主 : 熊本県、肥後銀行
熊本未来創生投資ファンド



観光庁
観光地域づくり法人 登録DMO
(地域連携DMO)

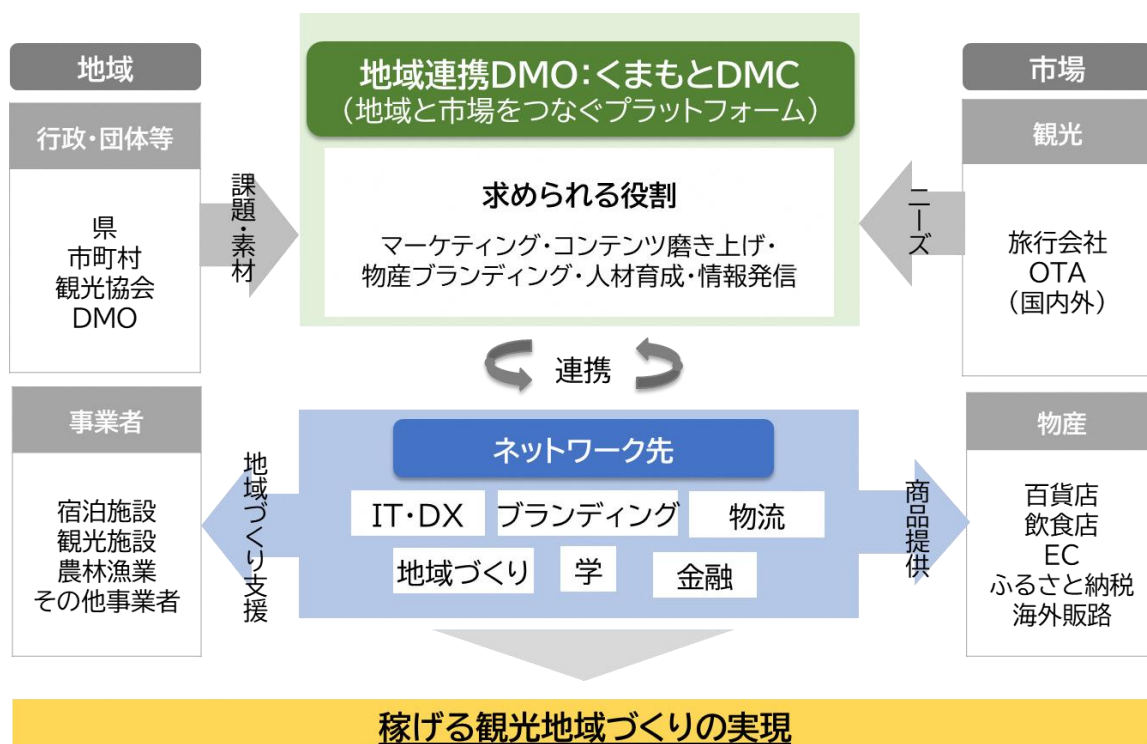
(DMO: Destination Marketing/Management Organization)



■くまもとDMCの役割

熊本県の観光地域の稼ぐ力を引き出し、地域活性化を下支えする

地域の課題や素材を磨き上げ、各種ネットワーク先と連携し、市場へ展開することで地域の経済を活性化を促進させる。



■事業実績紹介（抜粋）

つくる



熊本城を中心とする細川家関連遺産群を活用した高付加価値コンテンツの造成

文化財の修復・復興過程を観光コンテンツ化する「re-Construction Tourism」という新たなツーリズムの概念を設定し、そのコンセプトをベースに、震災から復旧中の熊本城において、その復旧作業に携わる石工などの人に焦点を充て、復旧作業中ならではの観光コンテンツを造成。（石垣修復ガイドツアー/熊本城ボードウォーク 復興ダイニング/細川家19代当主による 細川文化再現ツアー等）



つなぐ



熊本県のふるさと納税運営代行

県内事業者の販路拡大による売り上げ拡大を支援。特徴のある返礼品企画にも取り組み、JR九州と新幹線の特別なコト体験の共同開発をはじめ、企業とコラボした体験コンテンツなどの開発も実施、

熊本県版ワーケーションの推進

地域に根差した人々との交流を軸にして、各地域のリアルな課題や独自の歴史文化や自然からの学びや気づきを提供する研修型のワーケーションプログラムを通じた関係人口づくりに取り組む事業。

ふるさとくまもと
応援寄附金

熊本県のふるさと納税



つたえる



「くまもとモン×●●ジャック」プロジェクト

熊本の隠れた食などの「魅力」を都市部の強力な情報発信力や集客力とマッチングさせることで、新たな製品の流通と都市部での話題性を創出する事業。

〈ジャックエリア〉

- ・「くまもとモン×大阪梅田ジャック」
梅田駅周辺の商業施設6店舗に入居する飲食店舗等約150店舗
- ・「くまもとモン×銀座ジャック」
東京銀座周辺の商業施設（松屋銀座）や飲食店舗等
- ・「くまもとモン×福岡天神ジャック」
：福岡天神周辺の商業施設（大丸福岡天神店）や屋台

